

人間失格・桜桃



[人間失格・桜桃_下载链接1_](#)

著者:太宰 治

出版者:角川書店

出版时间:2009/5

装帧:文庫本

isbn:9784041099124

「恥の多い生涯を送って来ました。自分には、人間の生活というものが、見当つかな

いのです」青森の大地主の息子であり、廃人同様のモルヒネ中毒患者だった大庭葉蔵の手記を借りて、自己の生涯を壮絶な作品に昇華させた太宰文学の代表作品。「いまは自分には、幸福も不幸もありません。ただ、一さいは過ぎて行きます」ほかに、家族の幸福を願いながら、自らの手で崩壊させる苦悩を描いた「桜桃」も収録。

作者介绍:

太宰 治

1909年(明治42年)、青森県金木村(現五所川原市)生まれ。本名、津島修治。東大仏文科在学中に非合法運動に従事し、やがて本格的な執筆活動へ。1935年、「逆行」で第1回芥川賞の次席となり、翌年には処女作品集『晩年』を刊行。以後「走れメロス」「斜陽」など多くの佳作を執筆。「人間失格」を発表した1948年、玉川上水に入水し、没(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[人間失格・桜桃_ダウンロード1](#)

标签

太宰治

日本文学

生田斗真

小说

日本

人間失格

日语原版

菊家

评论

其实主人公的某些想法和我的一样OMG

原版

不管你觉得自己比他坚强多少倍，他痛苦的自言自语中总有一句能让你产生共鸣。

读完了超级压抑 再联系太宰治本人的一生 心里阴暗了好多天

看的是文豪野犬封面的，很喜欢

看完焦虑太久

[人間失格・桜桃_下载链接1_](#)

书评

[人間失格・桜桃_下载链接1_](#)